第102号　夏号
発行日
平成29年7月4日

UMEX 夢っくすニュース

かわらばん　夏号

春のガーデンパーティーに参加して　小島 由美

５月７日（日）、新緑に祝福されるかのように春のガーデンパーティーが開かれました。うど、こごみ、木の芽など、魚沼ならではの山菜が豊かに披露され、学生やそのご家族の皆さんは、興味津々の様子でした。天ぷらは、山菜をはじめ、さつまいも、かぼちゃ、しいたけ、かき揚げなど種類が豊富で、蕎麦や冷麦との相性も抜群、どれも美味しかったです。日本人が、蕎麦つゆと薬味の説明をすると、初体験の皆さんは真剣に聞き入っていましたが、蕎麦をすする姿を見たら、一気に笑顔がこぼれました。言葉では伝わりきらなくても、心が通い合うような微笑ましい光景が、あちらこちらで見られました。

私個人としては、うどが、食材として優秀であることを改めて知りました。生うどは、味噌だけで素材の味を堪能しました。もちろん天ぷらにしても美味しく、また葉や皮はきんぴらにできます。うどの皮を一生懸命むいて調理してくださった方々のお陰で、うどを多彩に味わうことができました。

夢っくすでは、異文化交流はもとより、日本文化を再発見できるところが、私は大好きです。以前は、あまり活動に参加しませんでした。理由は、知り合いが少ない、英語に自信がない、自分にできるボランティアがよく分からない、などからです。でも「案ずるより産むが易し」・・知り合いは参加すれば増えますし、英語に自信がある人は殆どいませんでした。ボランティアは、皆さんの姿を参考に、自分ができることをできる範囲でできます。自分が思っていたよりも、外国の皆さんと友達になれることが分かりました。

留学生の皆さんの多くは、やがて卒業して日本を離れます。夢っくすでの交流が、大切な思い出の１つとして心に刻まれている、という話をよく聞きます。これからも、年齢、性別、国籍、宗教、肩書きなどを超えて、楽しく交流していきたいと思います。

キッズイベント（子供の日）

春のガーデンパーティーと同時に子供の日イベントが開催されました。今回はウズベキスタン、タジキスタン、モンゴル、日本の子供達が参加してくれました。

凧作り、プラスチックの買い物袋にお気に入りのキャラクターをお絵かき、竹ヒゴで補強、タコ糸を付けて出来上がり！　歓声を上げて走り回る！　走り回り喉が渇き、お腹がすいた！　隣では、大人のガーデンパーティ、ジュース下さい！　天ぷら下さい！　流暢な日本語で飲み物とおいしい食べ物ゲット、箸上手に使えないけど？　おいしい、おいしいと大満足！　食後は、キッズイベント恒例の椅子取りゲーム、黒い靴履いているひと！　帽子被っている人！　キャー私の座るところが無い！　ワーワー、キャーキャー絶好調に盛り上がる。また、のどが渇いちゃった！　子供は、遊びの天才！　おいしいランチ作ってくれた皆さん、ご馳走さんでした。

（野口 勤）

高田公園花見　田中 美智子

４月８日（土）に今年も高田公園の桜を見に行きました。花はほんの数日前にやっと開花したばかりで心配しましたが、六分から七分咲きといったところできれいに咲いていました。雨が降ってくるという予報だったので、皆さんは明るいうちに、雨が降る前にと、急ぎ足でお目当の場所へ向かっていました。

今回も４０人位の学生さんやその家族が参加してくれましたが、夢っくす会員の参加は残念ながらありませんでした。毎回引率してくれている櫻井さんも都合が悪く、引率が森山さんだけになってしまったので、急遽私もお手伝いのために参加することになりました。

帰りが深夜になることや、年によっては開花がズレてしまうことなどから、会員の参加が減って来ているのかもしれませんが、新しく入って下さった会員の方達に参加してもらうためにはどんなやり方が良いのか、見直しの時期に来ているのかもしれない、と考えさせられました。皆さんも改善した方が良いと思う点や、やりたいことをどんどん提案しましょう。

インターナショナル・フェスティバル　　櫻井 徳治

カンボジアの学生による踊り

５月１３日（土）に、国際大学の体育館を中心にインターナショナル・フェスティバルが開催されました。当日は少し寒かったですが、大学開学３５周年ということもあり多くの参加者がありました。また、今までの卒業生に大学から案内したせいか、多くの卒業生が参加しました。開催中に中国から到着された参加者もおりました。私も多くの懐かしい卒業生に会うことができました。

各国料理ブースには、インドネシア、タイ等の東南アジア、中東グループ、インド、アフリカ等々の料理が提供されていました。どんな国か想像しながら各国の料理を味わうことができました。複数人で一つの料理を少量味わい、最後は気に入った料理を1人前食べるという方法をお勧めします。体育館の中では、各国の民族舞踊や音楽が披露され、終わるごとに喝采を浴びていました。衣裳の準備から踊りや歌練習に多くの時間を費やしたことと思います。私は外国に行って日本の踊りや歌をこのように披露することは不可能です。

国の伝統的な文化をこのように披露できることは、本当に素晴らしいことだと毎年感じています。

きもの体験の橋渡しをして　　今井 雄一

Words can't express how much fun we and how fantastic we felt. When I was childhood I watched some Japanese movie. So, we have some affection for Japan and Japanese people as well as Kimono, we always dreaming to wear Kimono. This time me and my family wore the Kimono, it was really wonderful experience. My mom and kids wore kimono when they looks like Japanese people. Kimono is beautiful, gorgeous and luxury clothes we love it. We would like to thank you all of you for making our dream come true and making memorable experience in my life.

「どんなに楽しく素敵だったかなんて言葉では言い表せません。子供のころ、日本の映画を見ました。そして、きものとともに日本や日本人に愛着があり、きものを着ることをずっと夢見ていました。私と家族はようやくきものを着ることができ、本当に素晴らしい経験をしました。きものを着た母と子供たちはまるで日本人のようでした。私たちの好きなきものは美しく、豪華で贅沢です。夢を実現させてもらい、自分史上忘れえぬ経験をさせてくれたみなさまに心から感謝申し上げます。」 以上、原文と私の拙訳です。

モンゴルからの３人の留学生に日本語の指導をさせてもらったのは２年前の１０月から。大学の授業が始まって間もないころでした。その後、私の仕事の関係で、長くは続きませんでしたが、何かあると頼ってくれ、スキーに行ったり、地域の行事にも参加してもらいました。

それが、卒業を控えた５月末、訪日中の家族とともに着物を着た写真を撮りたいというメッセージをもらいました。高橋会長に相談するとご多忙中、快く引き受けてくれ、スタッフを集めてくれました。男とみなされている私はお手伝いはできませんでした(笑)が、暫くして夢っくすの部屋から出てきたモンゴルの家族たちはとても美しい着物姿でした。八色の森公園で写真を撮りました。制限時間を超えました。

家族と離れて過ごした南魚沼の２年間はどんなふうに映ったのでしょう？　安心して充実した留学生活を過ごせたでしょうか？最後の局面で家族にも美しいおもいでを残せたのなら、うれしく思います。快く引き受けていただいた会長はじめスタッフの皆さんに心から感謝いたします。ありがとうございました。

日本語交流ひろば バスツアー　　坂西 由紀子

日本語教室ではラマダンに入る前の５月１７日（水）にバス旅行に出かけました。

直前のキャンセルが多く、大型バスに総勢２７名、行き先は「マリンピア日本海」と「育とぴあ食花」。例年のバラの時期の越後丘陵公園から希望の多かった場所に変更です。

水族館では子供はもちろん大人達も日頃お目にかかれない魚の大群や珍獣、イルカショーに心を躍らせました。お国に海のないキルギスの家族は海辺へと出かけほくほく顔。育とぴあでは動物とふれあい遊具で遊ぶ家族、お花畑を巡る人、ティータイムを楽しむ人と思い思いのひと時を楽しみました。帰りには満開の堀之内芝桜公園に寄り無事帰路に。

事故等のリスクを考えると不安な面もありますが、異国からお嫁に来た方にも、もうすぐ自国に帰る学生家族にも良い思い出となったことでしょう。

★夢っくす総会のご案内★

以下の日程で開催しますので、
出席下さいますようお願いします。
総会終了後、交流会を開きます。

日　付：７月22日（土）
時　間：１７：００～１８：００
集　合：えずみや（浦佐駅西口前）
参加費：1,000円（交流会参加者）

皆様のご参加をお待ち致しております。
問合せ：櫻井徳治 025-772-4589

キッズイベント（ありがとうパーティー）

角屋 志津子

母国へ帰国される学生さん・学生さんご家族へ感謝の気持ちを伝えようと思い、６月１８日（日）にキッズサロンで「ありがとうパーティー」を行いました。

今回は計画した日が遅かったせいか、ほとんどの学生さんご家族は既に母国に帰ってしまった後で、参加者２人ととても小勢の中でのパーティーとなりました。

けど、紙飛行機を作ったり写真立てにお花などでアレンジメントしたりして、賑やかとまではいきませんが、とてもアットホーム和やかな雰囲気の中で行いました。楽しい思い出が詰まったさまざまな写真を飾ってくれることでしょう。

今年も１年間いろいろと企画をしてきましたが、今後も皆さんが楽しんでもらえる企画をしていきたいと思います。今後もご協力をよろしくお願い致します。

ベトナム人学生さん達との交流

高橋 勇

私がベトナム人学生さんたちのチューターを始めたのは２００９年ですから、今年で９年目になります。

夢っくすの英会話教室が切っ掛けで「秋のＢＢＱパーティー」や「春のガーデンパーティー」にも参加するようになって、日本に興味を持っている学生さん達が多いことを知り、チューターをやってみようと思ったのです。

私が最初のチューターの相手にベトナム人学生を希望したのは、私の英語が現在と同様にお粗末だったからでした。私には小出署で刑事をしている時に友達になったベトナム人通訳がいましたので、私の英語が通じない時は携帯電話で通訳してもらえると思ったことと、私に同国人の友人がいることで相手の学生さんにも安心してもらえると思ったからでした。最初の学生さんは女性でしたので、日本語の勉強はラウンジ等のオープンな場所にして、我が家に招いたり車で出掛ける時には彼女の友人にも一緒に来てもらう等の気を使いましたし、私の家族に対しても気を使いました。私の2男と3男は、彼らが高校生と中学生の時に友人の通訳からベトナムに連れて行ってもらうなどしていましたので問題はなかったのですが、問題は母でした。

彼女達が私の家でベトナム料理を作ってくれた時も、母は「オレは後から一人で食べた方が気が楽だ。」と言って食事に同席しようとしなかったのです。しかし、彼女たちは「お婆さんを呼んで下さい。お婆さんがいないと食事が始められません。」と言ってきかないので、嫌がる母を同席させました。すると彼女達は料理を母の皿に取り分けたり、事ある毎に「お婆さん、お婆さん。」と声を掛けてくれるものですから母も次第に心を開き、彼女たちが帰る時には「あの娘たちは大したもんだ。今どき日本人でもあれだけ気を使ってくる者はいない。」と言って、自分が育てていた花を切って来てお土産として渡していました。そんな事からベトナム人学生のチューターを続ける事になった訳ですが、その後はチューターの相手を１学年２人にして、１年生が２年生になった時には、新しい１年生の中からある程度日本語が話せる２人を選んでもらいました。そうする事で、私から新しい１年生に「私のことや家族のこと、これまで参加した行事のことなど」を一から説明する手間が省けましたし、１年生からも安心してもらえたのではないかと思っています。このようにベトナム人学生さん達との交流が続いた理由は、家族の協力があったことと、これまでにチューターをした学生さんや、その友達が皆さん日本が好きで礼儀正しい上、ベトナムの学生さん同士仲が良く、私自身も一緒に居て楽しかったからです。

この８月には、卒業する学生さんの結婚式に招かれて初めてベトナムに行ってきますが、これからも無理をせず楽しみながら交流を続けて行きたいと思っています。

国際大学魚沼流合氣道

２００３年１０月に国際大学魚沼流合氣道を設立してから、早いもので１４年が経ちました。小千谷在住の杵淵先生が毎週電車で国際大学まで指導に来てくださっています。

この１４年の間にたくさんの国際大学の生徒達が、合気道を通して武道の技だけでなく、自他共栄や己に克つの精神を学びました。そして嬉しいことに卒業生が海外で支部を設立するまでに至っています。現在魚沼流合気道は私が管轄する京都支部２道場を含め、魚沼地区の４つの道場（国際大学を含む）と海外のアルマティ道場を合わせ７つの道場で稽古を行っています。

また毎年、桜の綺麗な時期に京都平安神宮側の武徳殿にて魚沼流合同演武大会＆合宿も開催しています。

私達は合気道の稽古を通して、自分の弱さや甘さに負けない心、困難にぶつかっても解決に導く柔軟な心、例え失敗してもまた挑戦できる強き心を習得し、そして何といっても、 国籍、性別、年齢を超えて合気道を学ぶという志を共有できる友を得ています。

この魚沼流合氣道の門徒としての繋がりは深く、国際大学を卒業しても合宿や集中稽古に戻ってくる生徒が多数います。

夢っくすの皆様にも、是非この素晴らしい関係を合気道の稽古を通して築いていただけたらと願っています。ご興味がある方は、当道場のホームページ www.iyonomaryuaikido.com をご覧ください。Facebook もやっています。

（魚沼流合氣道 京都道場代表　須貝 圭絵）

ホームページもご覧ください
http://www.umex.ne.jp/

2017年夏号

会員へのお願い（その１）

今年は、夢っくすが設立され１５周年になりました。設立から今まで、皆さんのご協力で活動が続いてきたことに対し感謝しております。

皆さん、最近は夢っくすの活動が停滞しているように感じられませんか？　任意団体である夢っくすの活動は、仕事と違い、会員のボランティア精神で成り立っています。

停滞の原因は、企画から実施まで、主体的になって事業を担当される方が年々少なくなってきていることが一番影響しているのではないかと思っています。

事業を実施するには、計画し、皆さんにお知らせし、必要な物や会場を確保しなければなりません。その過程では多くの会員の手間と協力が必要となってきます。

事業に参加すれば、新しい出会いがあったり、和が広がったりします。

以前に比べて少ない事業ですが、案内がありましたらできる限りご参加頂き、お手伝いして頂ける方は年１回でも結構ですので、事業に携わるか当日お手伝い頂ければ幸いです。

副会長　櫻井　徳治

会員へのお願い（その２）

９月の下旬に、新入生のためのフリーマーケットを予定しております。防寒着、生活用品など、提供頂けるものがありましたら、今のうちにご準備ください。開催日時については後日メーリングメールにてお知らせ致します。

会長　高橋　和子

★★会員紹介コーナー★★

①一番行きたい国②興味のある言語③趣味や特技
④夢っくすでやってみたいことは⑤今やっている国際交流⑥一言どうぞ！

会員No. 499　亀倉 里恵（かめくら りえ）

① どこでも
② 台湾語
③ 日本舞踊・三味線
④ 友達をたくさん作りたい
⑤ バイト先に来たお客さん（台湾人）とメッセンジャーでやりとりたまに会いに行ったりします。
⑥ 宜しくお願いします。

会員No. 500　横木 誉晋（よこぎ たかひろ）

① スウェーデン
② 英語
⑥ 国際交流を通じて沢山のことを学びたいです。よろしくお願いします。

新会員のご紹介

No.499 亀倉　里恵（南魚沼市）
No.500 横木　誉晋（南魚沼市）

★よろしくお願いします★

入会方法

入会は随時受け付けております。申込書は夢っくすのホームページから入手できます。また、夢っくすサロン（毎週土曜の午後１時～３時、年末・夏季を除く）でも配布しております。会費は以下の郵便口座にお振り込み頂くか、またはサロンに直接お持ちください。

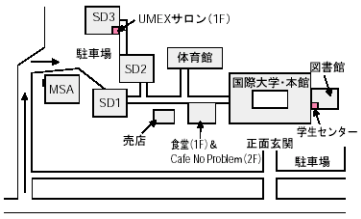
年 会 費
個人会員：3,000円
家族会員：1,500円
団体会員：１口 10,000円から任意の口数

郵便口座
口座番号：00550－7－74672
口座名称：うおぬま国際交流協会

うおぬま国際交流協会
UONUMA Association for Multicultural EXchange

〒949-6609
新潟県南魚沼市八幡35-7
うおぬま国際交流協会（夢っくす）事務局

夢っくすサロン（国際大学第3学生寮1階）
TEL/FAX: 025-779-1520
E-Mail: office@umex.ne.jp
URL: http://www.umex.ne.jp/



担当者連絡先
サロン　高橋:070-5083-3123　イベント　櫻井:080-6608-4830
多言語支援／外国語　坂西:090-5585-2066
広報　森山:090-6945-9402

今年の修了式は「小出郷文化会館」の大ホールで行われ、大勢の会員の方が祝福のために会場を訪れていました。皆様から卒業された学生さんたちとの交流レポートが届くことが今から楽しみです。今はキャンパスは静かですが、来週からは夏期英語集中講座が始まりますので、新入生になる学生さんも大勢やって来ます。(toshi)